

科目名	卒業研究ゼミ 2 (卒業必修)		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2021 年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	大橋 良生		
内容および計画	<p>【内容】 財務諸表をはじめとする会計情報は、企業の日々の経営活動を反映した集約情報であり、その理解は、今日の経済社会を理解する上で不可欠である。会計情報・財務情報・会計数値などをキーワードに、企業経営等に関する諸問題について、各自が選定したテーマによる卒業研究を完成させる。</p> <p>【計画】 最初に、卒業研究ゼミ 1 での学習を基礎として、財務情報の活用に関する基本的な教科書を輪読する。併行して、各自が選定した卒業研究テーマにそって研究の進捗を報告し、他のゼミ生との検討・考察をふまえて、研究活動を進めていく。最終的に、卒業研究の成果は卒業論文として提出してもらう。なお、卒業研究は、個人研究を原則とするが、共同研究も可とする。 なお、本ゼミでの研究テーマは、本学ホームページを参照されたい。</p>		
1	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
2	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
3	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
4	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
5	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
6	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
7	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
8	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
9	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
10	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
11	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
12	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
13	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
14	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
15	テキストの輪読および研究テーマに沿った進捗の報告		
16	研究テーマに沿った進捗の報告		
17	研究テーマに沿った進捗の報告		
18	研究テーマに沿った進捗の報告		
19	研究テーマに沿った進捗の報告		
20	研究テーマに沿った進捗の報告		
21	研究テーマに沿った進捗の報告		
22	研究テーマに沿った進捗の報告		
23	研究テーマに沿った進捗の報告		
24	研究テーマに沿った進捗の報告		
25	研究テーマに沿った進捗の報告		
26	研究テーマに沿った進捗の報告		
27	研究テーマに沿った進捗の報告		
28	研究テーマに沿った進捗の報告		
29	研究テーマに沿った進捗の報告		
30	研究テーマに沿った進捗の報告		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
桜井久勝『財務諸表分析（第8版）』中央経済社，2020年（ISBN9784502342417），乙政正太『財務諸表分析（第3版）』同文館出版，2019年（ISBN9784495193034），田村威文・中條祐介・浅野信博『会計学の手法－実証・分析・実験によるアプローチ』中央経済社，2015年（ISBN9784502135514）など財務分析や会計研究をキーワードとしたテキストを使用する。また，各自が決定した研究テーマを基に選定する。				
参考書	卒業研究のテーマに基づいて，統計学・統計解析に関するテキストを用いる。購入が必要な場合は，改めて，提示する。			
成績評価				
評価方法				割合(%)
プレゼンテーション				20
ゼミ活動への積極性・貢献度（長期休みにおける課題を含む）				20
卒業研究の報告及び成果				60
上記の評価項目と評価割合を基本として，総合的に評価する。				
学習到達目標	各自が興味・関心を持つ企業経営等に関するテーマについて，文献調査などを通じて計画的に研究活動を行い，社会的問題の認識，解決策の探究能力を養う。また，研究成果をプレゼンテーションする能力を養う。			
先修条件	卒業研究ゼミ1を履修済みであること。加えて，「財務会計」，「管理会計」，「経営管理論」，「統計解析」など，特に，会計学・経営学に関する科目を履修することが望ましい（詳細は，ガイダンス時に配布される履修モデルを参照のこと）。			
実務経験				
その他	ゼミ生には，自主性・積極性を期待する。プレゼンテーション，卒業論文，簿記など，最初から完璧にできるわけではないので，失敗を恐れず，積極的に挑戦し，また向上する意識をもって臨んでもらいたい。			